

委員会報告

産業建設常任委員会

温泉津町の水田放牧事業など視察

産業建設常任委員会
は、十七年八月二十九
日、三十日、島根県温泉津
町（人口三千八百三十九
人・十七年十月一日大田
市と合併）で、和牛の遊



和牛の放牧

休水田への放牧事業と、
産直施設「すいせんの里」
及び、出雲市多伎町の「道
の駅キララ多伎」の視察
を行いました。

温泉津町

水田放牧事業

耕種農家と畜産農家の
連携により、遊休水田に
和牛を放牧し、荒廃地の
管理経費を節減し、環境
保全に役立てるために取
り組まれています。

町とJAが十アール当
たり五千円（電気牧欄）
の補助金を畜産農家に交
付し、耕種農家と畜産農
家が契約して取り組まれ
ています。

一カ所三十アールの
区画に和牛二頭を放牧し
て、二カ月でローテー
ションしています。全体
で五ヘクタールが実施さ
れています。

この事業により、和
牛繁殖農家の経営の合理
化、増頭による収益の増
大、糞尿処理の省力化、
荒廃地の維持費の削減等
効果が出ています。

産直施設

「すいせんの里」

JAの呼びかけによ
り温泉津農産物直売所
出荷者協議会が経営主体
となつて運営されていま
す。売り上げは十六年度
で、約二千万円ですが、
町からの補助金は全く
無い中で運営されていま
す。

特徴的なことは、お得
意様カード会員を募り、
ポイント制で客を広げて
います。

また、地産地消の取り
組みとして、学校給食、
養護老人ホームへ、地
産コシヒカリと野菜な
どの食材を提供していま
す。

業養士が旬の野菜を使
う献立を考え、それに併
せて提供しています。
独立採算の運営、地産
地消の取り組みは学ぶ点
が多くありました。



すいせんの里

道の駅キララ多伎

地域振興を目的に平成
九年八月に、（株）多伎
振興が、町、農協、漁協、
商工会、個人の出資によ
り、第三セクターとして
設立されました。

道の駅「キララ多伎」
では、特産品の販売、レ
ストランの運営、海水
浴場の管理を行っていま

す。その他、多伎いちじ
く温泉、見晴らしの丘公
園の運営管理も行ってい
ます。

十五年度は四千五百万
円の収益を出し、それ以
外に町へ四千万円の寄付
もしています。赤字の多
い第三セクターのなか
で、この経営は大いに学
ぶべき点がありました。